



第40号
平成19年
3月発行

在宅医療とは

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長

須田

寛

医師や看護師が患者様の自宅を訪問し、医療行為を行うのが在宅医療です。また、在宅医療は入院医療、外来医療と並ぶ「第三の医療」ともいわれています。わが国では超高齢社会を迎え、通院困難になった患者様や最期のときを自宅で過ごしたい方が、QOLを保ちながら快適に療養する方法として、今、在宅療法が注目されています。

在宅医療は、その人の価値観に敬意を払い、人生に寄り添い、暮らしの中で「命を支え」、「生き方を支援」する医療活動です。私たちがどの地域に住んでいても、標準的な在宅医療を受けられるようになることが、在宅医療を推進している者の共通の願いなのです。

「現代の在宅医療」においては、かかりつけ医が患者様に期日を予告し、定期的な往診を行う。これを私たちは「定期往診」（訪問診療）と呼んでいます。「定期往診」と「二十四時間対応」が「現代の在宅医療」を構成し、以前より行われていた急病に対する「往診」とはかなり異なるものなのです。定期往診を実施している施設の大部分で、在宅医療を行っている患者様の90%以上は高齢者（いわゆる寝たきり老人、準寝たきり老人、虚弱高齢者）であります。在宅医療を受ける方の主な基礎疾患としては次のようなものがあります。

- 一 脳血管障害後遺症、多発性脳梗塞、脳血管性認知症
- 二 老人性認知症

- 三 老人性運動器疾患（骨粗鬆症、圧迫骨折、変形性関節症、大腿頸部骨折）および関節リウマチ
- 四 神経難病（パーキンソン病、筋ジストロフィ、脊髄小脳変性症 等…）
- 五 悪性腫瘍末期
- 六 慢性呼吸不全
- 七 慢性心不全
- 八 合併症を伴った糖尿病
- 九 老衰

在宅医療の対象となるのは、「通院困難な患者様」であります。通院困難である理由はさまざまですが、一人では通院が困難で、定期的な外来受診するには相当の努力や代償が必要であることが認知されれば在宅医療の対象となります。

特に、脳卒中、整形疾患、認知症の三大老年病は在宅医療において頻度の高い疾患であります。かかりつけ医は、これらの老年病の病態、治療、ケアに関する知識だけでなく、在宅高齢者に出現するさまざまな臨床課題、例えば、栄養、肺炎などの感染症、摂食嚥下障害、排尿障害、排便障害、認知症、転倒と骨折、整形外科疾患、廃用症候群、リハビリテーション、歯科、口腔ケアなどについての総合的な知識が求められています。症状が乏しく見過ごされやすい在宅高齢者に発生するこれらの臨床的問題について、居宅という非医療的環境のなかで、正しいアセスメントおよび治療やケアを行うための、総合的で実践的な知識・技術についての習得が要求されています。日常、かかりつけ医ばかりでなく医療・福祉に携わっている私たちも特に介護中における緊急事にすばやく対応出来る知識を持たなければなりません。

居宅の延長にある「望洋荘」においても、終の棲家として入所者様に、私たちは心からの介護を通して、心身両面において、嘱託医と共に、かかりつけ医としての協力医である病院、診療所、歯科医院の先生方と連携を密にすることが、如何に大事であるかということをご認識しなければなりません。

「ひな祭り」 豊間ユニット

三月三日（土）お昼より、豊間ユニットにて「ひな祭り」を開催いたしました。豊間ユニットは望洋荘の中でも唯一の女性入居者だけのユニットであり、ひな祭りをしたいという要望が強く、この日の為に入居者様みんなで、ひな壇（七段飾り）を協力しあって飾ったり、パーティーのメニューを考えたりと楽しませていただきました。

当日は多くの家族の方々も参加され楽しい時間を過ごされました。お料理の方も豪華に「ちらし寿司」や「かに」、等々をユニット内で入居者様に手伝っ



ていただき調理をしました。出来たてのラーメンや揚げたてのエビフライをテーブルにならべ、ご家族様と一緒に美味しく召しあがって居られました。ご家族の方々に参加して頂けると、本当に入居者の皆様がとても良い表情をされていと実感しました。家族が揃って食事をするという事は、昔はこの家庭でも当たり前の事でした。今と違って質素な食卓でしたが、みんなでのしく会話しながら食べる食事はいい思い出になっています。食卓は家族で最大のコミュニケーションの場であつた事と思います。又、箸の使い方や食事のマナーも食卓で学んだ様な気がします。皆様も家族揃つての食卓を心掛けて見ては如何でしょうか。

「いわき寄席」 出演者の色紙集から

「いわき寄席」 出演者の直筆の色紙を紹介致します。

柳亭 喜多八 師匠の作品です。

○第二七回記念いわき寄席 平成六年二月二日

○第四九回記念いわき寄席 平成九年一〇月二八日

○第六七回記念いわき寄席 平成十三年三月二六日

(演目) 租忽の釘、やかんなめ、もぐら泥

(演目) 小言念仏、欠伸指南、是清

(演目) 旅行日記、ねずみ、お見立て



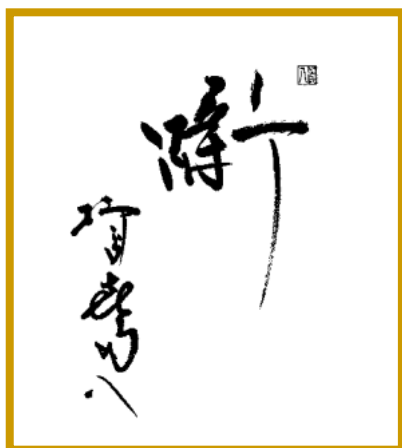
柳亭 喜多八 師匠
(第 67 回いわき寄席 H13.3.26)

一期一会



柳亭 喜多八 師匠
(第 67 回いわき寄席 H13.3.26)

初心



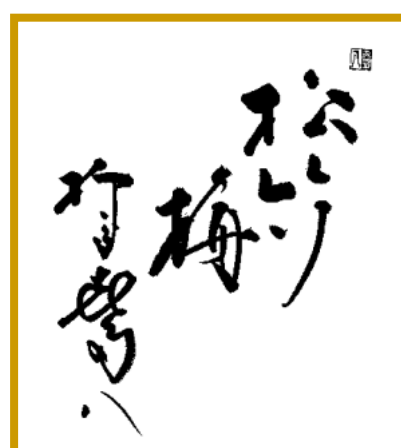
柳亭 喜多八 師匠
(第 67 回いわき寄席 H13.3.26)

新



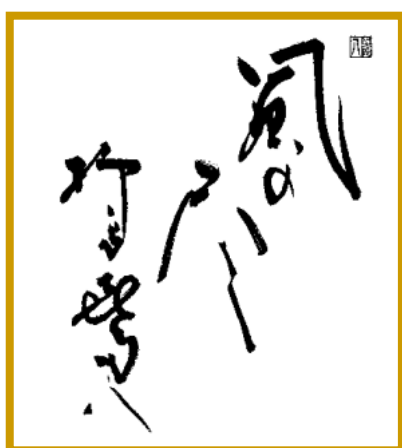
柳亭 喜多八 師匠
(第 67 回いわき寄席 H13.3.26)

極



柳亭 喜多八 師匠
(第 67 回いわき寄席 H13.3.26)

松竹梅



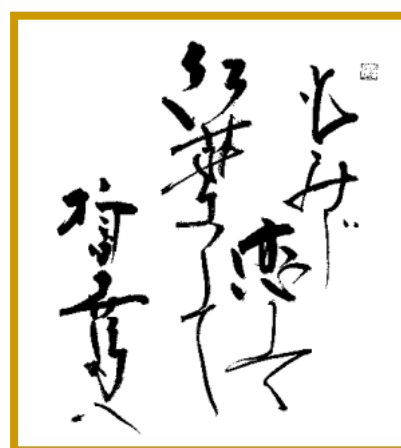
柳亭 喜多八 師匠
(第 67 回いわき寄席 H13.3.26)

風の尽



柳亭 喜多八 師匠
(第 67 回いわき寄席 H13.3.26)

いろはにほへと
ちりぬる...



柳亭 喜多八 師匠
(第 67 回いわき寄席 H13.3.26)

もみじ
恋して
紅葉して

「お茶会」永崎ユニット

三月七日（水）午後二時より永崎ユニットホールにてお茶会を開催致しました。

今回のお茶会は、ホットプレートを用意してホットケーキとお好み焼きをお茶うけに作って見ました。いろんな形のホットケーキに「あんこ」や「チョコ」や「生クリーム」をトッピングして大好評でした。中には「自分で作るとおいしい」声もありました。



四月の行事予定

- 四月二日（月）午前の部十時～ 午後の部二時～
 豊間ユニット「お花見」 午前の部「大畑公園」 午後の部「須田医院」
- 四月五日（木）午前の部十時～ 午後の部二時～
 勿来ユニット「お花見」 午前の部「下川公園」 午後の部「須田医院」
- 四月六日（金）午前の部十時～ 午後の部二時～
 四倉ユニット「お花見」 午前の部「下川公園」 午後の部「須田医院」
- 四月七日（土）午前の部十時～ 午後の部二時～
 薄磯ユニット「お花見」 午前の部「下川公園」 午後の部「須田医院」
- 四月一八日（水）午後二時三〇分～
 カラオケ倶楽部 薄磯ユニットホール
- 四月二六日（木）午前十時～午前十一時
 正面玄関ホール・塩屋岬広場
 「キャプテン 船水」ハーマニカ演奏

【四月のお誕生会予定】

- 四月一日（日）午後三時～
 四倉 松野ミヤ子様（八六歳）誕生会
- 四月一〇日（金）午後三時～
 豊間 阿部トラミ様（八八歳）誕生会
- 四月一二日（木）午前一〇時～
 豊間 吉田 タカ様（八九歳）誕生会
- 四月一四日（土）午後二時三〇分～
 四倉 喜多村トミ様（八一歳）誕生会
- 四月一九日（木）午後三時～
 薄磯 吉田 京子様（六七歳）誕生会
- 四月一九日（木）午後二時三〇分～
 勿来 深谷 芳子様（七五歳）誕生会

「国民健康保険被保険者証」の更新

現在「国民健康保険」に加入の入居者様へのお願いです。「国民健康保険被保険者証」が三月三一日を持ちまして有効期限が切れますので、各市町村から郵送で新しい保険証の交付がされると思います。新しい保険証がご自宅にお届きになりましたら、一度望洋荘へお持ち頂きますようお願い致します。

尚、現在望洋荘に入居されている入居者様の保険証についてですが、施設発行の「入居証明証」を各市町村役場に持参して「遠隔地」の手続きをしますと、ご家族様とは別に入居者様だけの保険証の交付が出来ます。ご希望される方は施設の生活相談員・受付等にお申し出下さい。

今月の言葉その（倫理研究所編標語集から）

姿勢を正すとは
心も正す、こと

多くの人々の生活に貢献するためには、心も正す、こと

編集後記

『望洋荘』便り
 平成十九年三月三十一日発行
 発行所 いわき市 平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
 FAX (0246) 55-7255